

・水原川－境川合流地（417）・・二本松市

37・38・55N

140・28・25E



周辺の水田で採餌をする白鳥

1. ハクチョウ類飛来状況（2011年～2015年）

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ	612	423	741	363	354	499
コハクチョウ	58	17	79	82	85	64
類合計	670	440	820	445	439	563

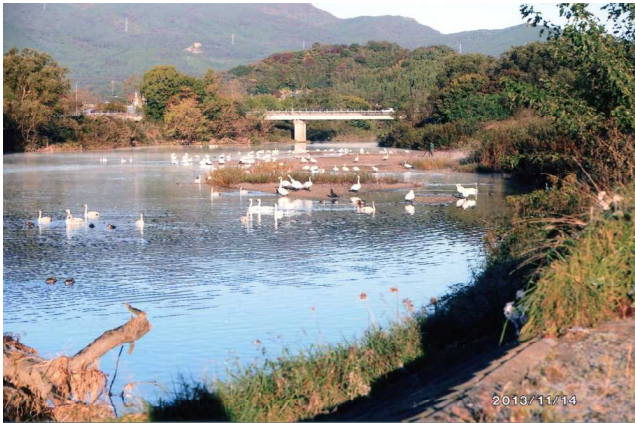
2. 選定地の状況

水原川は福島県福島市、二本松市を流れる一級河川阿武隈川水系の河川です。福島県南部では最大規模の白鳥飛来地ともなっている。初飛来は平成9年で3羽来ました。最大1,000羽いたこともありました。2017年2月ここで鳥インフルエンザが発生しました。ここはオオハクチョウが多く、日中は田んぼで過ごしております。水原川白鳥を守る会が頑張っております。

（選定協力員 佐久間 拓城）

・夏井川（愛谷）（89）・・いわき市

37・5・19N 140・52・7E



1. ハクチョウ類飛来状況（2011年～2015年）

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ						
コハクチョウ	50	241	272	153	322	208
類合計	50	241	272	153	322	208

2. 選定地の状況

夏井川は福島県南東部の阿武隈高地を流れ下り太平洋に注ぐ二級河川。夏井川水系の本流である。いわき市平藤間にて太平洋に注ぐ夏井川では3ヶ所に白鳥が煽ります。

毎年10月上旬に飛来し翌年3月中旬頃までいます。中平窪では今年度平成28年10月9日に3羽飛来し、旅立ちは平成29年2月15日に始まり最後は3月19日10羽(幼鳥4羽)でした。白鳥広場はコハクチョウのみです。以前は『夏井川白鳥を守る会』が中心となり赤井地区の農家の協力を得て田んぼに水を張り冬水田んぼとし、そこで餌をとり幼鳥も自力で餌をとる力を身につけるようにしていました。今でも雨が降ると喜んで水溜まりを求めて田んぼに行き餌を食べています。冬水田んぼを増やしたいが最近では鳥インフルエンザが数年流行しており大人の感覚としてはあまり白鳥に触れたくない、警戒心を持っています。正しい知識と理解を一般的に分かるような説明活動をしなければいけないと思っています・

(選定協力員 佐久間 拓城)

・阿武隈川－三本木橋～文知摺橋・・福島市

37・46・5N

140・29・25E



1. ハクチョウ類飛来状

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ	120	169	104	119	74	117
コハクチョウ	76	31	107	15	29	52
類合計	196	200	211	134	103	169

2. 選定地の状況

2016年12月7日親水公園を訪れたが、20～30羽くらいでその他に50羽くらいいた。状況から白鳥が拡散しているようだ。ここには20年くらい前は沢山いたが今は分散していて余りない。ねぐらがあちこちに来ているようだ。2月中旬にコハクチョウが北帰行のために北上する。それと同時に南にいたオオハクチョウが北上し順次入れ代わっている。最近のは白鳥は傾向として餌をもらえる場所を分かっている北上しながらそこを順次訪れているようだと思っっている。三本木橋～親水公園～文知摺橋のみならず今はその上流下流にも分散しています。

(選定協力員 佐久間 拓城)

・大池 (126) ・ ・白河市

37・2・46N

140・18・53E



1. ハクチョウ類飛来状況 (2011年～2015年)

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ		70	44	370		97
コハクチョウ	120	106	70	25		64
類合計	120	176	114	395		161

2. 選定地の状況

大池公園キャンプ場の中にある池は、水が抜かれていてコハクチョウが1羽のみいた。他の白鳥が採食のためにいなかったのかは分からない。

(選定協力員 佐久間拓城)